

「ひらおで暮らす」を支える

あま

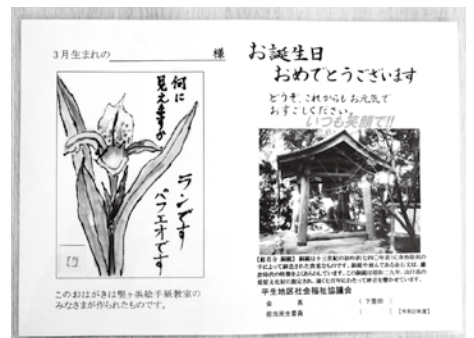
ひらお社協だより
4.9発行
2021 No.200



かわらない地域のつながり

お誕生日カードのお届け

ひらお ちくしゃかいふくしきょうぎかい
平生地区社会福祉協議会では、平成21年より地区内の65歳以上の
ひとり暮らし、または75歳以上のふたり暮らしのお宅へ、手づくりのお
誕生日カードを届ける取り組みを続けておられます。「お誕生日おめで
とうございます」の言葉と共に、訪問活動を行っていらっしゃいます。



お誕生日カードには絵手紙と風景
しゃんそ
写真が添えられています。

【編集・発行】
社会福祉法人 平生町社会福祉協議会
 平生町平生村 618-2 ふれあいまちづくりセンターあਿਆむ
 TEL 56-8000 FAX 56-8020
 ✉️ mail fukushi@hirao-shakyo.or.jp
 🌐 HP http://www.hirao-shakyo.or.jp

平生町社協 検索

ひらお社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

じゅうてんもくひょう
～重点目標～

1 「連携」と「協働」を考える

1) 改正社会福祉法の施行に伴う社協の役割について

令和3(2021)年4月に施行される改正社会福祉法には、地方公共団体の責務である地域福祉の推進のための措置として、包括的な支援体制の整備と地域における多様な関係者との連携についての条文が新たに規定されました。地域福祉を進める団体のひとつとして、また包括的な支援体制の一翼を担う団体として社協が担える役割を整理し、町行政や関係機関との連携体制について提案をしていくことも必要と考えています。また、これまで総合相談窓口機能や各分野のサービス支援等を担ってきた経験を活かし、新たな役割を担えるよう努力します。

2) 赤い羽根共同募金について

毎年、赤い羽根共同募金(共同募金)は、町民のみならず、自治会、関係団体の多くのみなさまにご協力をいただきながら運動を展開していますが、全国的に寄付金額は減少傾向にあり、本町においてもそれは例外ではありません。共同募金は、様々な地域生活課題の解決に寄与する貴重な民間財源です。「じぶんの町をよくなるしくみ」として今後も本町の地域福祉の推進に継続的に貢献できるものとなるよう、みなさまの協力を得ながら展開できるよう努力していきます。

3) 災害発生時の社協の役割について

令和2(2020)年7月豪雨以降の災害から、救助を実施する被災自治体からの委託を受けた社協等が設置・運営する災害ボランティアセンターでの経費の一部が国庫負担の対象となりました。今後の災害発生に備え、災害発生時のボランティアセンターの開設について自治体計画等へのより具体的な記載や事前協定の締結についても働きかけを行い、災害発生時の本町の支援体制について社協の役割を整理していきます。

4) 「あいあむ+」プロジェクトの推進

令和2(2020)年度より、「ひらおで暮らし」を支える新しいプロジェクト「あいあむ+ (ぷらす)」の取り組みを始めています。「あいあむ+」とは、様々な世代の暮らしを支えるためのサービスを創造し、日々の暮らしに活力(健康・安心・豊かさ)を+ (ぷらす)する「人と地域と社会に貢献する」プロジェクトです。このプロジェクトでは、今後わずか20年余りの間に激変することが想定される社会や地域の生活環境に対し、私たちが今でき

ること、今からすすめる準備を「福祉」という枠に捉われず「暮らし」について広く考えていきます。

2 「健康」を考える

1) 健康経営の推進

働き方改革の一環でライフステージに合わせて働き方を選択できるしくみや、働きやすい職場づくりをすすめています。令和2(2020)年度より、前述の「あいあむ+」プロジェクトのひとつとして「運動器機能の検診と虚弱化の防止」で健康寿命日本一を目指す取り組みを試行的に開始しました。疾病の早期発見を目的とする健康診断と同様に、誰にでも100%起こり得る加齢による運動器機能の低下に着目した検診と運動の機会を提供し、「健康」で長く働き続けることのできる職場づくりに取り組めます。

2) 「あいあむ+ClubH2O (クラブエイチツーオー)」

県内で健康づくりに取り組む企業と連携し、一般住民向けに2040年に向けて健康寿命の延伸を目指した取り組み(「あいあむ+ClubH2O」)を始めます。「あいあむ+ClubH2O」では、加齢による身体の変化について理解を深め(情報発信、啓発活動)、自分の身体の状態を知り(運動器機能の状態検診)、加齢による虚弱化を防止(運動機会の提供、運動の習慣化)することに重点的に取り組むことから始めます。

3 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進を考える

1) ICTを活用した業務の効率化

働き方改革をすすめる中で、ICTを活用した定型的業務に関する省力化・効率化やリモート環境を活用した労働環境の整備など、ICT化を検討していきます。

2) 「DX」を考える

子どもからお年寄りまで幅広い世代に対する生活課題に取り組んでいくために、よりタイムリー、且つ効果的な伝達方法が必要不可欠です。DXの推進は、必ずしもICT化を推進することとイコールではなく、「情報の紹介」中心の発信方法から、「何に伝えたいのか」「何に共感してもらうのか」への意識変革を図り、効果的な伝達方法を考えながら既存のツールを上手く活用することも考えていくことが必要です。まずは、職員の意識改革と効果的な活用方法の検討を始めていきます。

けいえいりねん ～経営理念～

- 平生町社会福祉協議会は、だれもが安心して暮らせる“ひらお”のまちづくりをすすめます
- 平生町社会福祉協議会職員は、人としてひとを大切にプロフェッショナルを目指します
- 私たちは住民の満足、お客様の満足、職員の満足を追求し続けます

企画総務部

重点目標 ・ 環境の変化に対応した新しい組織文化・風土の創造
デジタル技術の活用による業務の効率化と効果的
活用策の検討
働き方の新しいスタイルの推進

・ 「ひらおで暮らす」を支える包括的支援体制の推進
地域生活課題の把握と支援体制の充実
多様な地域福祉の担い手の参画促進

- 法人運営
- 人財育成の推進
- 地域福祉活動の推進
住民福祉活動の支援、ボランティア活動の支援、生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーターの設置）
- 福祉教育の推進
- ひらお♡はつらつ人生の推進
介護予防事業、集いの場の活動支援

- 相談機能の充実
地域福祉課題への対応（相談・支援体制）、各種資金貸付事業、福祉サービス利用援助事業、地域包括支援センターの運営、認知症総合支援事業
- 各種在宅福祉サービスの実施
- 広報・啓発活動
- 赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動
- 指定就労継続支援事業所「あいあむ」の運営

事業部

重点目標 ・ あいあむ+プロジェクトの推進
「ひらおで暮らす」を支えるサービスの提供
ICTを活用した事業の効率化と新たな事業展開の検討

・ 健康経営の推進
健康で働き続けることのできる職場環境づくり

- 各事業所の事業運営
 - ・ ケアセンターあいあむ
通所介護事業
介護予防・日常生活支援総合事業第一号通所事業
訪問介護事業
介護予防・日常生活支援総合事業第一号訪問事業
基準該当生活介護事業
居宅介護（重度訪問介護）事業
居宅介護支援事業
 - ・ はつらつセンター
通所介護事業
基準該当生活介護事業

- ・ ひらお♡みんなの家
認知症対応型共同生活介護事業
- ・ さが♡みんなの家
（介護予防）認知症対応型通所介護事業
- サービスの質の向上
- 感染症対策
- 在宅介護推進に向けた取り組み
介護者のつどいの開催
- 『あいあむ+』プロジェクトの推進
あいあむ+ClubH2Oの始動

令和3年度予算

(単位：千円)

収 入			支 出		
項 目	予算額	%	項 目	予算額	%
会費収入	1,400	0.43%	人件費支出	220,610	68.18%
分担金収入	1,797	0.56%	事業費支出	30,743	9.50%
寄付金収入	2,000	0.62%	事務費支出	11,155	3.45%
経常経費補助金収入	7,520	2.32%	就労支援事業支出	2,200	0.68%
受託金収入	5,208	1.61%	貸付事業支出	100	0.03%
貸付事業収入	100	0.03%	分担金支出	1,797	0.56%
事業収入	4,965	1.53%	助成金支出	2,120	0.66%
介護保険事業収入	230,115	71.12%	負担金支出	200	0.06%
就労支援事業収入	2,200	0.68%	支払利息支出	1,080	0.33%
障害福祉サービス等事業収入	10,350	3.20%	その他の支出等	240	0.07%
その他の収入等	470	0.15%	設備資金借入金元金償還支出	14,004	4.33%
施設資金借入金償還補助金収入	9,212	2.85%	ファイナンシャル・リース債務の返済支出	890	0.28%
繰越金	48,200	14.90%	退職手当積立基金預け金支出	6,779	2.10%
			当期末支払資金残高	31,619	9.77%
合 計	323,537		合 計	323,537	

じっしほうこく 実施報告!

はぐく ふくし たいけんがくしゅう つながりを育む「福祉体験学習」

れいわ ねんど きぐ しょうどく かんせんしょうたいさく おこな ちょうない がっこう ふくし たいけんがくしゅう てつだ
令和2年度も器具の消毒など感染症対策を行い町内の学校などへ「福祉体験学習」のお手伝いにかがい
ました。

コロナ か ひと のつながりが生まれにくい状況ですが今までのつながりを大切に、今年度も相手の立場に
立った思いやりの気持ちを皆さんと共に学び育む「共育」に取り組んでまいります。

たいけんがくしゅう 例

くるま たいけん くるま つか かた の かた めせん きも たいけん かいじょほうほう かんが
車いす体験 車いすの使い方、乗った方の目線や気持ちを体験、介助方法やバリアフリーについて考

えます

たいけん め み かい たちば た こえ か ゆうどう ほうほう かんが
アイマスク体験 目の見えづらい方の立場に立った声掛けや誘導の方法を考えます

こうれいしゃぎ じたいけん こうれいしゃぎ じたいけん こうれいしゃ しんたいじょうきょう し かか かた かんが
高齢者疑似体験 高齢者疑似体験セットで高齢者の身体状況を知り、関わり方を考えます

れいわ ねんど じっしほうこく 令和2年度 実施報告



佐賀小学校「福祉体験学習」



平生小学校「総合学習」



佐賀小学校「福祉講座」



やないフラワーランド
「福祉のおしごと出前授業」



熊毛南高等学校「ボランティア講座」



平生中学校「高齢者疑似体験」



ふくし たいけんがくしゅう しょう こうれいしゃぎ じたいけんそうち あか は ねきょうどう ぼきん はいびん う こうにゅう
福祉体験学習で使用した高齢者疑似体験装置は、赤い羽根共同募金の配分を受けて購入しました。

あか は ねきょうどう ぼきん ぼきんひゃっ かてん 赤い羽根共同募金・募金百貨店プロジェクト



じっせきほうこく 実績報告

れすとらん♡あいあむ
あか は ね し えん じ どうはんばい き
赤い羽根支援自動販売機

2,460円
18,646円



ぼきんひゃっ かてん ～募金百貨店プロジェクトとは～

“寄付つき商品・企画”を販売し、売り上げの一部を赤い羽根共同募金に寄付することにより、地域社会
に貢献する企業・団体等を募集するプロジェクトです。平生町内の募金百貨店加盟事業所、『れすとらん♡
あいあむ』では、あいあむカレーのセットメニューを注文すると、1食につき5円
が赤い羽根共同募金に寄付されます。また、寄付つき自動販売機が町内2ヶ所（あ
いあむ・佐賀地域交流センター）に設置されています。

共同募金会では、自社の商品やサービスを寄付つき商品・企画にして赤い羽根
共同募金にご協力いただける事業所を募集しています。詳細は、平生町共同募金
委員会（TEL 56-8000）までお問い合わせください。



私たちのまち“ひらお”を私たちの手で住みよいまちへ! 福祉の輪づくり運動情報

それちく
曾根地区

きゅうしょく
～ふれあい給食～

「ふれあい給食」は、昭和62年から続く同地区福祉の輪づくり運動推進委員会とボランティアグループたんぼほの皆さんの活動の1つです。

月に一回の高齢者の見守り活動として、たんぼほの皆さんが作られるお弁当を同地区福祉の輪づくり運動推進委員会の皆さんがお届けされています。コロナ禍においても「今こそ見守り活動が必要だ」と、感染症対策に留意しながら活動を継続されています。

対象者の方にとって、人と出会う機会が少なくなる中での貴重なふれあいの機会となられているようです。



か がみ
掛け紙のイラストは、同地区の
しょうがくせい
小学生が描いておられます♪

だいさんしゃ い いん 第三者委員さんのご紹介

第三者委員の皆さまは、本会で提供する福祉サービスに関してお客様やご家族、住民の皆さまからの意見、ご要望、苦情などを受け付ける窓口の一つとして中立的、客観的な立場で対応して下さる社協職員以外の方々です。現在、本会会長より4名の方に第三者委員を委嘱させていただいています。

3月2日（火）にあいあむで開催された第三者委員連絡会では、本会に寄せられた苦情やご要望について意見交換を行われました。委員の皆さまが実際に地域の中で聞かれた本会のサービスに関する声を聞かせていただくこともできました。今回いただいた貴重なご意見を踏まえ、今後も福祉サービスの充実に努めてまいります。

- | | | |
|----------------------|------------|----------------------|
| だいさんしゃ い いん
第三者委員 | う の
宇野 | やすひろ
保弘さん（平生町山田） |
| | つ はら
津原 | さち こ
祥子さん（平生町向井原） |
| | ふじもと
藤本 | しげ こ
滋子さん（平生町河田） |
| | よしむら
吉村 | まさのり
正憲さん（平生町上組） |



くるま 車いすをご寄贈いただきました

サンエイグループ（ジャンボ平生店）様は、社会貢献活動の一環として地域における社会福祉諸活動の支援に取り組まれています。このたび本会に車いす3台をご寄贈いただき、2月24日（水）に“あいあむ”にて贈呈式が行われました。ご寄贈いただいた車いすは町内の皆さまへの貸出など、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。



あか は ねきょうどう ぼきん 赤い羽根共同募金

きょうりょく
ご協力をお願いします

れいわ ねん がつふくしまけんおき じ しんさいかい ぎ えんきん 令和3年2月福島県沖地震災害義援金

2月13日に発生した福島県沖地震により、福島県内では多数の住家被害が発生し、県内8市9町に災害救助法が適用されました。福島県共同募金会では、この災害により被災された方々を支援することを目的に義援金の募集を行っています。

- 受付期間：令和3年5月31日まで
- 募金箱設置場所：あいあむ
（平生町共同募金委員会事務局）



てんやくきょうしつ さんか 点訳教室に参加してみませんか？

こんねん ど てんやくきょうしつ すいじかいさい
今年度も点訳教室を随時開催いたします。

ねんれい せいべつ けいけん と きょうみ かた きがる と あ
年齢・性別・経験などは問いません。ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

《開催日時》 毎月第2・4木曜日 10:00~12:00 全8回

《場所》 ひら お ちいきこうりゅう
平生まち・むら地域交流センター

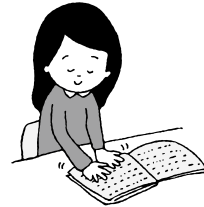
《講師》 てんやく みな
点訳ボランティアグループ「てんとうむし」の皆さま

《受講料》 むりょう
無料

《持参物》 ひつ きようぐ えんぴつ け あかえんぴつ
筆記用具（鉛筆、消しゴム、赤鉛筆）

※道具、教本は、こちらでご用意いたします。

※全8回の日程を修了された方には、平生町社会福祉協議会より修了証書をお渡しいたします。



《お問合せ》 たいあわ ひら おちょうしゃかいふくしきょうぎかい
あいあむ（平生町社会福祉協議会） ☎ 56-8000

ふくし ようぐ かしだし おこな 福祉用具の貸出を行っています

ほんかい くるま ふくし ようぐ か だ おこな つういん がいしゅつ さい かつよう
本会では、車いすなどの福祉用具の貸し出しを行っています。通院や外出の際にぜひご利用ください。

《貸出対象》 ひら おちょうない す かた くるま ひつよう かた
平生町内にお住まいの方で車いすなどを必要とされる方

《使用料》 し りょう むりょう
無料

《使用期間》 しようきかん すうじつ しゅうかんでいど げんそくたん きかん か だ
数日～1週間程度 ※原則短期間での貸し出しとなります。

《利用方法》 りようほうほう まどぐち かんたん てつづ おこな か だ
あいあむの窓口にて簡単な手続きを行い、貸し出します。

《お問合せ》 たいあわ ひら おちょうしゃかいふくしきょうぎかい
あいあむ（平生町社会福祉協議会）

☎ 56-8000



ありがとうございます

しゃきやう がつごう がつごう
社協だより12月号、2月号
のカレンダーと書き損じはが
きの募集に対し、多数のご協
力をいただき、ありがとうございました。

ちいきふくし かつどう ゆうこう かつよう
地域福祉活動に有効に活用
させていただきます。

車いす
寄贈

サンエイグループ
ジャンボ平生店様

ダーナ（布施）として
浄圓寺仏教婦人会様



匿名 三名

佐賀婦人会様

平生婦人会様

東浜田 増田 孝様

山口県東部ヤクルト販売株式会社

丸山 向井 綾子様

代表取締役社長 山本 公総様

社会福祉資金

地方下 坪金 昇史様 御母堂 美代子様

上横二区 石杉 眞子様 御主人 功作様

広島市 浴 彰様 御尊父 厚夫様

向井原上 河高 忠善様 御尊父 政春様

黒羽根 田中 宏行様 御尊父 信行様

香典返し

（順不同）

（2/15/31迄）

◆ご芳志ありがとうございます◆